

当面のスローガン

- 「人権侵害救済法」制定を!
- 狭山再審闘争勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
中澤敏浩

第69回
全国大会

「人権侵害救済法」を今国会で

部落解放同盟第69回全国大会が3月30日、31日大阪府立労働センターを主会場にひらき、和歌山県連からは37人が参加した。

本大会は、全国水平社創立90周年記念集会在3月3日に京都府会館(旧岡崎公会堂)で開催されたために、例年とは違いこのような日程となった。

主催者を代表し組坂繁之中央執行委員長は「全国水平社創立90年が経過し、部落解放運動もさまざまなりくみにより、大きく発展

してきている。人権侵害救済法の早期制定を求める闘いも、人権委員会設置の法案となつて今国会での審議に入ろうとしている。また、狭山第3次再審を求める闘いも9回の三者協議を経て、いよいよ再審闘争の大詰めに入っている。しかしながら、部落解放運動を取り巻く情勢は極めて厳しい

といわざるをえない。在特会による差別煽動事件、後を絶たない戸籍謄本などの不正取得事件、インターネットを中心とした差別書き込みなど、山積している課題は多い。全国水平社創立の精神をいま一度再確認し、よき日実現のために全国でがんばろう」とあいさつした。

つづいて、各界各層から出席された来賓が紹介された。民主党をはじめとする各政党、企業・宗教団体から決意とあいさつがあった。県選出の国会議員では、公明党を代表して西博義・衆議院議員が、今国会での「人権委員会設置法案」制定をめざしていくとあいさつした。

午後3時からは3会場で分散会討論がおこなわれ、運動方針案の補強や各地域のとりくみの報告がなされた。分散会では、全国の差別事件の報告、とりわけ現在、奈良地方裁判所で公判中となっている在特会による差別煽動・差別情宣事件のとりくみや、インターネットを使用した差別事件にたいするとりくみの報告があつた。また全国で1万件使用されたといわれる『ブライム社』による戸籍謄本など職務上請求用紙不正使用事件にたいする各地から報告があつた。この不正取得事件では和歌山県内でも20件請求され、その使用目的などが現在調査されている。県内でも3市町村で「登録型本人通知制度」が導入されている。

全国的におきている不正取得事件について、中央本部としても本大会以後、全国連絡会議をつくり各地域の情報を集約していくとの答弁があつた。

また、本大会は中央役員の改選にもなう選挙が実施され、役員選挙(信任投票)で組坂中央執行委員長をはじめすべての立候補者が信任された。

部落解放同盟第69回全国大会

スローガン

人権・平和・環境と社会連帯の実現を基軸にした
部落解放運動を大きく前進させ、
全国水平社創立90周年を勝利の年にしよう



「よき日」をめざし力強いあいさつをする組坂中央執行委員長

和歌山からも中央役員選出

和歌山県連からの中央役員は次のとおり。※()内は県連役員
中央執行委員 池田清郎
(執行副委員長)

中央組織規律副委員長 飯田敬文(執行副委員長)
中央委員 中澤敏浩(執行委員長) 藤本哲史(書記長) 宮本修作(書記次長)
中央組織規律委員 福島隆志(常任執行委員)

伏原支部の定期大会が4月8日伏原文化会館でひらかれた。新役員は次のとおり。

支部長 金本 清春
副支部長 西本 恵昭
女性部長 林 みゆき
御坊支部の定期大会が4月13日財部会館でひらかれた。新役員は次のとおり。
支部長 橋本 正春
副支部長 細川健次郎

橋本支部の定期大会が4月22日岸上文化センターでひらかれた。新役員は次のとおり。
支部長 寺本 典司
副支部長 池田 義彦
副支部長 森中 寛慈
副支部長 西川 延良
書記長 板橋 秀樹

名古屋支部の定期大会が4月27日名古屋文化会館でひらかれた。新役員は次のとおり。
支部長 寺本 忠行
湯浅支部の定期大会が4月28日湯浅町総合センターでひらかれた。新役員は次のとおり。
支部長 石本 一也
副支部長 竹中多恵子
書記長 磯岡 和也

書記長 上山 正宏

健康

フランスの大統領選挙で現職のサルコジ大統領が、野党・社会党のオランド氏に敗れた。敗因は、5年前に経済の活性化を掲げて当選したが果たせず。一方では、富裕層に有利な減税を実施し、豪華なバカンスなど派手な私生活やスキヤンダルから「金持ちのための大統領」と批判され、大きく支持離れがおきたことが指摘されている。またサルコジは、移民労働者の多く住む地域での「ゴミ」「ごろつき」発言や、「ロマ」にたいする弾圧と排除を強行したことで世界的な批判の世論を呼んだが、全く意に介しないう態度をとり続けてきた。そして、政治的にもフランスの伝統である平等主義を否定し、新自由主義をすすめてきた。さらに、選挙終盤で不利を伝えられ、近年台頭してきた極右政党にも急接近した。▼サルコジは、ユダヤ系ハンガリー人の移民三世である。その彼が、移民労働者やロマへの弾圧と排除(差別主義)を強行してきた。今回の選挙は、こうしたことが一因でもあると思う▼「ユーロ」は、ヨーロッパが戦場になることを回避させてきたが、一方では、巨大企業をより巨大化させた反面、失業や生活不安を急増させ、結果的には、ヨーロッパ全体を社会・経済不安に陥れるという状況を生み出してきたことも背景にある。(S・I)